

平成 23 年 4 月 6 日  
支援本部事務局  
(防災危機管理部)

## 被災地（宮城県）に対する物的支援の状況（累計）

### （ 1 ）県の備蓄物資（4月5日までの配送分）

・毛布	5,855 枚	・簡易トイレ	530 台
・アルファ化米	950 食	・水（水 2L）	858 本
・担架	300 台		

### （ 2 ）市町の備蓄物資（4月5日までの配送分）

・毛布	18,005 枚	・マスク	17,000 枚
・アルファ化米	24,800 食	・乾燥米飯	129 箱
・缶詰米飯	2 箱	・乾パン	21,920 食
・茶（350 mL）	1,800 本	（1.5 L）	150 本
・おむつ	29,176 枚(小児用おむつ 11,358 枚 大人用おむつ 17,818 枚)		
・簡易トイレ	100 台		

### （ 3 ）県民からの提供物資（市町窓口受付）（4月3日までの配送分）

・飲料水	194 箱	・保存食	1,058 箱
・粉ミルク	145 箱	・生理用品	354 箱
・おむつ	2,803 箱	・尿取りパッド	1,015 箱
・トレットペーパー	1,095 箱	・ボックスティッシュ	939 箱
・ウェットティッシュ	248 箱	・使い捨てカイロ	236 箱
・乾電池	23 箱	・毛布	191 箱
・タオル	1,713 箱	・石けん	520 箱
・その他	583 箱		計 11,117 箱

\* 3日までの受付数は 14,825 箱

\* 県は 3 日で市町窓口を通じての受入れを一時停止

\* 被災県からも食料品以外の支援物資については、一時受入れを停止したい旨の要請があったため、未搬送分については受入れ再開後に搬送予定

### （ 4 ）企業からの提供物資（4月3日までの配送分）

・米（無洗米）	600 袋	・レトルトカレー	600 個
・カップ麺	600 個	・ペットボトル(お茶)	12,000 本
・医薬品	2,310 箱	・フリースジャケット	10,000 着
・フリースパンツ	3,000 着	・マスク	400,000 枚
・お菓子	100,000 袋	・くつ	1,000 足
・毛布	4,600 枚	・敷パット	8,500 枚

\* 大口提供分のみ記載（小口は記載省略）

被災地に対する人的支援の状況(平成 23 年 4 月 5 日現在)

県職員

派遣期間	職種	人数等	対応業務	派遣先	問合せ先
H23.4.5(火) ~11(月)	県土整備部職員	1名 四日市職員 3名	下水道管路調査	宮城県	下水道室 059-224-2729
H23.3.29(火) (終期末定)	現地支援派遣職員 (事務職員等)	【第1班】8名 【第2班】8名 (1班8名体制 4泊5日で交代)	家屋被害調査業務等	宮城県 (塩竈市)	人材政策室 059-224-2103
H23.3.26(土) ~29(火)	企業庁職員 (土木職員)	4名	被災地の応急給水活動	宮城県	企業庁 水道事業室 059-224-2833
H23.3.24(木) ~29(火)	災害支援ナース (県立志摩病院 職員)	看護師2名	病院、社会福祉施設、避 難所等での看護活動	宮城県	病院事業庁 県立病院経営室 059-224-2348
H23.4.2(土) ~7(木)		看護師1名		岩手県	
H23.3.22(火) ~28(月)	企業庁職員 (土木職員)	2名	工業用水道施設の応急復 旧支援	宮城県	企業庁 工業用水道事業室 059-224-2835
H23.3.22(火) ~25(金)	「心のケア」チーム (三重県こころの 健康センター)	【第1班】4名 医師1 保健師1 精神保健福祉士1 臨床心理士1	被災者の心のケア対策 (避難所での巡回相談、 避難者・スタッフへの講話等)	宮城県	健康づくり室 059-224-2294
H23.3.25(金) ~31(木)	(県立こころの 医療センター)	【第2班】5名 医師1 看護師1 精神保健福祉士1 臨床心理士1 事務員1		宮城県	病院事業庁 県立病院経営室 059-224-2348
H23.4.3(日) ~8(金)	(県立こころの医 療センター)	【第4班】5名 医師1 看護師1 臨床心理士1 精神保健福祉士1 調整員1		宮城県	病院事業庁 県立病院経営室 059-224-2348
H23.3.22(火) ~26(土) H23.3.25(金) ~3.29(火)	現地支援調整要員 防災危機管理部 県土整備部 環境森林部	【第1班】4名 (防危3、県土1) 【第2班】4名 (防危2、環境2)	現地情報(被害情報、道 路状況、支援ニーズ等) の収集、支援物資の受入 調整、今後の人的派遣に	宮城県	防災対策室 059-224-2189

H23.3.28(月) ~4.3(日)	農水商工部	【第3班】 3名 (防危2、農水1)	かかる情報収集等		
H23.4.2(土) ~6日間程度	現地支援調整要員 防災危機管理部 県土整備部 環境森林部 農水商工部	【第4班】 3名 (防危3)	現地情報(被害情報、道路状況、支援ニーズ等)の収集、支援物資の受入調整、今後の人的派遣にかかる情報収集等	宮城県	防災対策室 059-224-2189
H23.3.23(水) ~30(木)	医療救護班 (県立総合医療センター)	【第3班】 5名 医師1 看護師2 薬剤師1 事務1	避難所等における避難住民の診療、病院における診療ほか	岩手県	病院事業庁 県立病院経営室 059-224-2348
H23.3.16(水) ~19(土)	保健師 調整員 (延べ15班47名) (4月末まで)	【第1班】 4名 (保健2、調整2)	被災者の健康相談・健康チェック、避難所の衛生対策	岩手県	健康づくり室 059-224-2294
H23.3.19(土) ~22(火)		【第2班】 3名 (保健2、調整1)			
H23.3.22(火) ~25(金)		【第3班】 3名 (保健2、調整1)			
H23.3.25(金) ~28(月)		【第4班】 3名 (保健2、調整1) 四日市市1名			
H23.3.28(月) ~31(木)		【第5班】 3名 (保健2、調整1)			
H23.3.31(木) ~4.3(日)		【第6班】 3名 (保健2、調整1)			
H23.4.2(土) ~4.6(水)		4/2から市町保健師も併せて派遣 【第7班】 3名 保健師2 調整員1 津市1名			
H23.4.5(火) ~4.9(土)		【第8班】 3名 保健師2 調整員1 名張市1名			
H23.3.15(火) ~17(木)	防災危機管理部 職員	4名	物資輸送及び被災県の状況把握	宮城県	防災対策室 059-224-2189
H23.3.12(土) ~14(月)	防災航空隊	ヘリコプター1機 5名	空中消火及び救助	岩手県	防災対策室 059-224-2189
H23.3.12(土) ~14(月)		ヘリコプター1機 5名	主に救急搬送	岩手県	

H23.3.11(金) ~13(日)	DMAT(災害派遣医療チーム)(県立総合医療センター)	1チーム 5名 医師2 看護師2 診療放射線技師1	災害の急性期における医療活動	福島県	健康福祉総務室 059-224-2238 県立病院経営室 059-224-2348
小計		103名			

緊急消防援助隊

派遣期間	職種	人数等	対応業務	派遣先	問合せ先
H23.3.11(金) ~14(月)	緊急消防援助隊 1次隊	31隊 110名	救助活動、火災対応	千葉県 ほか	消防・保安室 059-224-2108
H23.3.13(日) ~18(金)	2次隊	31隊 105名			
H23.3.16(水) ~21(火)	3次隊	28隊 102名		宮城県	
H23.3.19(土) ~21(月)	4次隊	8隊 23名		宮城県	
小 計		340名			

警察

派遣期間	職種	人数等	対応業務	派遣先	問合せ先
H23.3.11(金) ~15(火)	広域緊急援助隊 (警備部隊) 【一次派遣】	25名	行方不明者の捜索、救出 救助	宮城県	警察本部 警備第二課 (代)059-222-0110
H23.3.11(金) ~18(金)	広域緊急援助隊 (交通部隊) 【一次派遣】	20名	交通整理	宮城県	
H23.3.22(火) ~30(水)	広域緊急援助隊 (交通部隊) 【二次派遣】	11名	交通整理		
H23.3.28(月) ~4.5(水)	広域緊急援助隊 (交通部隊) 【三次派遣】	10名	交通整理		
H23.4.3(日) ~11(月)	広域緊急援助隊 (交通部隊) 【四次派遣】	10名	交通整理		
H23.3.12(土) ~19(土)	広域緊急援助隊 (刑事部隊) 【一次派遣】	10名	検視・遺族対策	宮城県	
H23.3.18(金) ~25(金)	広域緊急援助隊 (刑事部隊) 【二次派遣】	10名	検視・遺族対策		
H23.3.14(月) ~20(日)	機動隊 【一次派遣】	49名	行方不明者の捜索、救出 救助	福島県	
H23.3.20(日) ~26(土)	機動隊 【二次派遣】	20名	行方不明者の捜索、救出 救助	宮城県	
H23.3.25(金) ~31(木)	機動隊 【三次派遣】	74名	行方不明者の捜索、救出 救助	宮城県	
H23.4.5(火) ~14(木)	機動隊 【四次派遣】	30名	行方不明者の捜索、救出 救助	岩手県	

H23.3.15(火) ~22(火)	航空隊(航空すずか) 【一次派遣】	4名	情報収集	宮城県
小計		273名		
合計		716名		

## 各部署の対応状況

### 【政策部】

- ・ 「三重県被災地住民受入窓口」を設置（3月22日 政策総務室）
- ・ 県職員からの義援金募集（政策総務室）
- ・ 県のホームページを通じた情報提供（3月14日～ 広聴広報室）
- ・ 県の広報媒体（テレビ・ラジオ）を通じた義援金や支援物資の受付等に係る情報提供（広聴広報室）
- ・ 県職員からの義援金、10,025,107円を日本赤十字社を通じて寄附（3月31日）

### 【総務部】

- ・ 避難住民に対する県職員住宅の提供について検討を開始（3月15日）
- ・ 県職員住宅の提供可能数をホームページに掲載（3月24日 津市内10戸、伊賀市内10戸）
- ・ 宮城県塩竈市へ事務職員等の派遣を開始（3月29日）
- ・ 国家公務員宿舎の提供可能数をホームページに掲載、受付開始（4月1日）
- ・ 県職員住宅の受付を開始（4月5日）

### 【防災危機管理部】

- ・ 「救援物資対応窓口」の開設（3月18日）
- ・ 現地連絡・調整員の派遣（3月22日～）

### 【生活・文化部】

- ・ 「みえ災害ボランティア支援センター」の活動  
支援センターの設置（3月14日）  
ボランティア先遣隊の被災地への派遣を検討中  
第1次先遣隊の被災地（岩手県下閉伊郡山田町他）への派遣（4月1日～5日）  
センター事務局ボランティア及びボランティア活動支援金の募集開始（4月5日～）  
「私たちにできることを考える緊急集会・三重」（アスト津）の開催（4月11日）  
（男女共同参画・NPO室 059-222-5981）

### 【健康福祉部・病院事業庁】

- ・ 共同募金会、日本赤十字社の募金箱を県本庁舎及び各総合庁舎へ設置
- ・ 県内の環境放射能測定結果、水道水・降水物（大気中の雨水やちり等）の放射性物質の測定結果について、ホームページで情報を提供
- ・ 医療従事ボランティアの募集開始（3月24日 県ホームページ）  
3月31日現在 5名（医師1、歯科医師1、看護師2、放射線技師1）
- ・ 被災地からの避難者向けに、ホームページで福祉関連情報を提供
- ・ 医薬品、衛生材料291箱を宮城県に提供（3月22日）
- ・ 県社協（県内市町社協含む）から、生活福祉資金の貸付業務支援、現地災害ボランティアセンターの設置運営支援等のため、職員を派遣（3月19日～ 先遣隊・3班計11名）
- ・ 医療支援に係る派遣  
DMAT（災害派遣医療チーム）派遣（3月11日～13日 県立総合医療センター、市立四日市病院、松阪市民病院、三重大学医学部附属病院 4チーム計21名）

医療救護班派遣（3月17日～ 三重大学医学部附属病院、県立総合医療センター、市立伊勢総合病院、市立四日市病院、鈴鹿中央総合病院 6班計37名）

保健師派遣（3月16日～ 県、四日市市、津市、名張市 8班計27名）

「心のケアチーム」派遣（3月22日～ こころの健康センター、こころの医療センター、三重大学医学部附属病院4班計18名）

#### 【環境森林部】

- ・ 三重県環境整備事業協同組合からし尿処理の収集運搬業務を行う人員、車輛の岩手県への派遣（人員43人、バキューム車20台、トラック・ワゴン車5台、期間：3月21日～3月30日）
- ・ 日本水道協会の相互応援協定に基づく応急給水の協力要請により、津市、四日市市、桑名市が人員・車輛を宮城県へ派遣。（人員8人、給水車4台、期間：3月17日～3月29日ただし、桑名市は3月27日まで）

#### 【農水商工部】

- ・ 県中小企業融資制度「リフレッシュ資金」について、緩和した利用要件を追加し、地震の影響を受けた県内中小企業者を経営支援
- ・ セーフティネット資金の要件緩和措置（4月1日から 指定業種を原則全業種82業種に）
- ・ 立地支援窓口の設置（3月30日）

#### 【企業庁】

- ・ 企業庁職員住宅の提供可能数をホームページに掲載（3月22日 単身用～大台町内5戸・紀北町内6戸、世帯用～四日市市内5戸・大台町内3戸）

#### 【教育委員会】

- ・ 被災地域の児童生徒等の転入学支援開始（3月15日）  
4月4日現在で、桑名市の公立小学校に2人、県立特別支援学校に1人受け入れ済み  
今後、30名の受け入れ予定あり  
（内訳：公立小学校26人、公立中学校2人、県立高校1人、県立特別支援学校1人）
- ・ 関係団体に被災児童生徒の臨時健康診断等の協力依頼（3月16日）
- ・ 被災地域の都道府県及び政令指定都市の教育委員会へ、被災地域の高等学校等で、保護者等の転居、親族家庭への避難等により本県の県立高等学校等への転入学等を希望する生徒がいる場合には柔軟に取り扱う旨を通知（3月17日）
- ・ 教職員等からの義援金募集開始（県教育委員会、県市町教育長会、県教職員組合等関係団体10団体が連携 3月25日～4月28日）
- ・ 教職員住宅提供可能数をホームページに掲載（4月1日 世帯用18戸 単身用18戸）

#### 【県土整備部】

- ・ 県営住宅の提供（50戸 4月4日現在37件を受付、12戸49人入居 市町営住宅は、3月31日現在137戸を提供）

#### 【警察本部】

- ・ 県内18警察署及び警察本部職員からの義援金、520万円を日本赤十字社を通じて寄附（3月31日）



被災地住民に対する住宅等の情報提供について

平成23年3月22日に政策部内に設置した窓口においては、市町、企業、団体、個人の皆様の善意に基づく住宅等の情報収集と、被災地への情報提供を進めています。

情報提供の手段として、三重県ホームページの「東北地方太平洋沖地震に伴う支援に関する情報」の中に受入可能施設のページを設定していますが、このページは、県・市町の公営住宅に加えて、職員住宅や企業の社宅、個人の住宅など、多様な主体から届けられた善意が結実したものとなっています。また、国家公務員宿舎も全国に先駆けて掲載したことから、首相官邸のホームページとも最初にリンク設定がなされたところです。

なお、窓口におけるこれまでの相談件数等の状況は次のとおりです。

1 相談件数（4月4日まで）

住宅等を求める方	13件
住宅等を提供する企業・団体等	65件
その他（市町からの相談等）	78件
計	156件

2 提供可能住宅数（4月3日現在）

（公営住宅）		
県営住宅	50戸	
市町営住宅	137戸	
雇用促進住宅	139戸	
UR賃貸住宅	40戸	小計366戸
（社宅・個人住宅等）		
職員住宅（県、市町、国等）	133戸	
企業の社宅	114戸	
個人の住宅	71戸	小計318戸
合計	684戸	

3 入居決定数

県営住宅	23戸（残27戸）	4月3日現在
市町営住宅	14戸（残123戸）	3月31日現在
雇用促進住宅	1戸（残138戸）	4月1日現在
UR賃貸住宅	1戸（残39戸）	4月3日現在

# 東北地方太平洋沖地震に伴う被災地からの被災者受入状況一覧

支援本部事務局  
(防災危機管理部)

平成23年4月5日(月)午前9時現在

市町名	他県(被災地)住民の受入状況				備考
	都道府県名	市町村名	避難場所名	人数	
桑名市	宮城県	仙台市	民家	2人	
東員町	福島県	南相馬市	民家	5人	
四日市市	福島県	須賀川市	市営住宅	17人	
四日市市	福島県	相馬市	市営住宅	3人	
四日市市	福島県	双葉郡楢葉町	市営住宅	5人	
四日市市	茨城県	水戸市	市営住宅	5人	
四日市市	茨城県	南相馬市	市営住宅	7人	
四日市市	福島県	いわき市	県営住宅	3人	1世帯
四日市市	福島県	川内村	県営住宅	6人	1世帯
四日市市	福島県	富岡町	県営住宅	2人	1世帯
四日市市	福島県	大熊町	県営住宅	5人	1世帯
四日市市	岩手県	大槌町	県営住宅	2人	1世帯
四日市市	宮城県	石巻市	県営住宅	2人	1世帯
四日市市	福島県	広野町	県営住宅	2人	1世帯
津市	茨城県	ひたちなか市	市営住宅	4人	1世帯
津市	福島県	いわき市	県営住宅	10人	2世帯
津市	福島県	郡山市	県営住宅	6人	1世帯
津市	福島県	南相馬市	県営住宅	8人	1世帯
津市	福島県	富岡町	県営住宅	3人	1世帯
松阪市	福島県	いわき市	市営住宅	6人	1世帯
伊勢市	福島県	双葉郡広野町	市営住宅	6人	2世帯
伊勢市	宮城県	石巻市	市営住宅	2人	
鳥羽市	福島県	田村郡三春町ほか	民家	9人	2世帯
志摩市	福島県	いわき市	市営住宅	7人	3世帯
伊賀市	福島県	田村市	愛農学園農業高等学校	5人	
伊賀市	福島県	高崎市	愛農学園農業高等学校	1人	
伊賀市	東京都	世田谷区	愛農学園農業高等学校	1人	
伊賀市	福島県	日立市	民家	2人	1世帯
熊野市	福島県	(不明)	民家	8人	1世帯
熊野市	茨城県	(不明)	民家	2人	
熊野市	福島県	田村市	市営住宅	6人	
熊野市	宮城県	(不明)	民家	1人	
				155人	

都道府県名	人数
岩手県	2人
宮城県	7人
福島県	127人
茨城県	18人
東京都	1人
計	155人

避難場所	人数
県営住宅	49人
市営住宅	68人
民家	31人
その他	7人
計	155人